

## 過電流継電器検査成績書

納入先

検査期日 年 月 日

工事番号

形 式	M-2C12	定 格 電 壓	— V cont.	定 格 周 波 数	H z
動 作 原 理	静 止 形	定 格 電 流	A cont.	動 作 表 示 器	
準 準 動 準	J E C - 1 7 4	整 定 範 囲	L : ~ A	素 子 型 式	M H H - 1 0
制 御 電 壓	D C V		H : ~ A	製 造 番 号	
			LT : ~ S	器 具 番 号	
	基 本 波 檢 出 用		HT : ~ S		

試 験 項 目 ・ 試 験 結 果

溫 度 °C 濕 度 %

試 験 項 目	試 験 内 容	試 験 結 果
構 造 檢 查	外観・構造・表示事項及び塗装	
絶 縁 抵 抗 試 験	回路一括・外箱間: 10 MΩ以上(規格値)	
耐 電 壓 試 験	回路一括・外箱間: 2.0 kV 60 Hz 1分間	
特 性 試 験	(注) 下記項目の試験を実施する。	

## 1. 制御電源開閉

制御電源の入切、低下、瞬断にて誤動作しないこと。

## 2. 動 作 値 (試験周波数: H z)

L 整 定	A	A	A	A	A
動 作 値	A	A	A	A	A
H 整 定	A	A	A	A	A
動 作 値	A	A	A	A	A
判 定 基 準	各 整 定 値 の ± 10 % 以 内				

## 3. 動 作 時 間 (試験周波数: H z)

〔I 整定: 最小, 入力: 0 → 整定の 200%〕

L T 整 定	最 小	最 大	H T 整 定	最 小	最 大	判 定 基 準
	s	s		s	s	最大整定値の ± 10 % 以内
動 作 時 間	s	s	動 作 時 間	s	s	

## 4. 復 帰 時 間 (試験周波数: H z)

〔I 整定: 最小, T 整定: 最大, 入力: 整定の 200% → 0〕

復 帰 時 間	判 定 基 準
L 要 素	ms
H 要 素	ms

300 ms 以 内

## 5. 周 波 数 特 性 〔I 整 定: 最小〕 (右端の ( ) 内は試験周波数を示す。)

イ) 整定値の 9 倍の第 3 調波を印加して動作しないこと。 ( H z )

承 認	作 成